

福島ロータークラブ会報

vol. 14

2018.11.8 thu



<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋7F【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010【FAX】024-524-1011
 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

18-19年度スローガン「融和と進化」

本日の プログラム	IAC 年間活動報告	福島東稜高等学校 インターアクトクラブ顧問 上野 浩子 先生
	ローター財団月間にちなんで ローター財団スピーチ	地区ローター財団補助金委員会 委員長 右近 八郎 会員

会長あいさつ



2018-19年度会長 浦部 博

暦の上では立冬も過ぎて、信夫山の紅葉も一段と進みました。つるべ落としに日が短くなってきます、冬に備えて身体に気をつけてお過ごしください。

今日は、福島東稜高等学校の上野浩子先生をゲストにお迎えして、IACの年間活動報告を伺うことになりました。

さて、今日のお話ですが、みなさまのところに11/2付で、五阿弥委員長から二度目の「**会員増強に関するお願い**」が届いていると思います。今年度、福島ロータークラブの大きな目標の一つですが、会員基盤を強固にすることで「奉仕の精神」をより地域社会に広げることができ、会員が増えることでネットワークが広がって、クラブの運営はさらに活気が溢れたものになります。

入会候補者アンケートに「こんな人に入ってもらいたい」という情報を自由に記入してお寄せください。これは、むしろご当人にはあらかじめ入会勧誘や、意思確認などはしないで、記入をお願いします。とりわけ、女性会員情報や、若い世代・新しい職業分野の情報が集まることを期待しております。

実は、わたくし自身もためらいがありまして、ご当人の意思も確かめずに記入してもいいものか、不安もあって10月ようやく4名の方を記入して提出しました。その後すこし要領が分かって、さらに4名のお名前を提出できました。その内、女性会員は5名です。

相応の情報は記入しましたが、ご本人の事情や、他の団体・クラブに所属しているかどうかなど、正確な情報までは把握しておりません。記入して頂いた入会候補者については、理事会で検討した上で、相応しい方に改めて入会を働きかけていくという手順となります。ぜひ、ご協力よろしくお願いいたします。

もうひとつ、信夫山を舞台にした「**青少年育成活動とローターの公共イメージの向上**」の活動が始まっております。福島市教育委員会の後援をいただいて、東稜高校

例会次第

開会点鐘 浦部 博 会長

ローターソング「我等の生業」

ソングリーダー 丹治 正博 会員

会長あいさつ

浦部 博 会長

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

福島東稜高等学校 IAC顧問 上野のひろこ 先生

福島中央ロータークラブ 呉竹のひろし 様

食事

幹事報告

増子 勉 幹事

各委員会報告

■プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当

箱岩 偉 小委員長

■本日のプログラム

閉会点鐘

浦部 博 会長

のみなさんと「信夫山の魅力と多様性を学んで、それを地域社会にも発信する」というプロジェクトです。

11/17(土)に、寄付講座「おもしろ信夫山学」を行い、その後、探索チームで展望・歴史・自然・信夫山の生成などを学んでもらって、それを纏めて来春2/24(日)にこむこむのプラネタリウムで発表会を行います。

同時に星空専門家とプロミュージシャンによる「信夫山から見える星空」スペシャルライブを開催します。

広報のご協力を媒体各社さんにお願ひし、逐次活動状況の情報発信を行い、活動を「ローターの友」にも寄稿を考えています。みなさんもこの活動にぜひ、関心をお寄せください。

IAC 年間活動報告

福島東稜高等学校 インターアクトクラブ顧問 上野 浩子 先生



2017-18年度インターアクトクラブ活動報告

福島東稜高等学校 インターアクトクラブ

1. IACについて

現在1年生15名、2年生14名、3年生18名の計47名が在籍。2学期に入り3年生は進路活動のため引退。現在は1、2年生を中心に活動中。
例会は主に第1水曜日の昼休み時間に実施。

2. 主な活動について

- ・外部の研修会（主にリーダー研修会、年次大会、国際理解研修会など）への参加
- ・外部でのボランティアへの参加（今年度は花ウォーク、麻薬撲滅キャンペーン等）
- ・校内での募金活動（生徒会やIACとの共催）
- ・チベットへの支援物資回収
- ・猪苗代湖水草回収ボランティア

3. 今後の予定

- ・11月17日（土）信夫山講習会
- ・12月～信夫山探索、フィールドワーク
- ・2月24日（日）「こむこむ」にて信夫山研究成果の披露

- ・チベットへの支援物資回収（2月～5月）
- ・その他、随時ボランティアや募金活動を実施
- ・年次大会の準備（本校は2019年度ホスト校に）

4. 2019-20年度国際ロータリー第2530地区 インターアクトクラブ年次大会について（案）

2019年8月8日（木）～9日（金）
福島県青少年会館 大研修室にて開催予定

県内各地より生徒・引率約130名（うち宿泊70名程度）を見込んでいる。

オリンピック前年度ということで、『地域とスポーツ』をテーマとして学ぶ予定。

オリンピックを翌年に控え、スポーツでの地域おこしに盛り上がる福島の現状を知り、地域とスポーツの関わりを学ぶことが目的。

ランダムに班分けをし、交流をしながら新聞作成に取り組む。新聞作成という視点から、ただ受け身に話をきくのではなく、取材しようとする意欲的な姿勢を持つことを目的とする。

「ロータリー財団月間にちなんで」スピーチ

地区ロータリー財団補助金委員会 委員長 右近 八郎 会員



RI第2530地区のロータリー財団委員会の補助金委員会委員長をしております関係で、本日は、地区ロータリー財団委員会の役割と補助金の経済的な側面について簡単にスピーチさせていただきます。

すでにご案内のようにロータリー財団(The Rotary Foundation of Rotary International)はロータリークラブ誕生間もない1917年のアトランタ国際大会で、アーチ・クラフが「全世界的規模で社会福祉の分野で何かよいことをしよう」と提案し、26.5ドルの寄付から出発したものです。以来、100年を超える発展の歴史があり今日の姿となっています。ロータリー財団委員会が関係する活動は、寄付金(Funds)を募る活動と補助金(Grants)を活用する活動の2つに分かれます。地区委員会では、資金推進・ポリオ委員会と補助金委員会がそれぞれ対応し

ています。そのほかに両活動を繋ぐ財団資金管理委員会があり、3つの小委員会で地区の活動支援を担当しています。寄付金を募る活動としては、今年度も一人150ドルとポリオ撲滅のために30ドル、合わせて180ドル(約20,000円)の寄付をお願いしています。変わらぬご協力をお願いします。

さて、私は今年度の地区補助金委員会の委員長ですので、補助金を活用する活動について少々詳しくお知らせします。財団の補助金には大きく分けて2つの補助金があります。**地区補助金とグローバル補助金**です。4年前より「未来の夢計画」と呼ばれる新しい補助金モデルに移行し、シェアシステムと呼ばれる補助金分配方法が採られています。これは期待値(活用額)が最大で75%になるもので、地区補助金で25%、グローバル補助金で最大

50%の活用が可能なシステムになっています。このシェアシステムでの地区補助金額の概算を計算してみましょう。現在2530地区の全会員数2,400として、平均寄付額150ドル/会員とすると、 $2,400 \times 150 = 360,000$ ドル=約4,000万円が年間寄付額の概算です。その25%が地区補助金額ですので大体1,000万円となります。財団奨学生などの費用を除くと、年間500～600万円が地区補助金額となります。2530地区全クラブ数65で割ると10万円前後ということになります。最近では30～40のクラブが地区補助金を申請していますので、一クラブあたり20万円前後地区補助金となっています。一方、同額のグローバル補助金枠が地区に割り当てら

れ、活用しない場合は繰越しされ蓄積されていきます。グローバル補助金はご案内のようにハードルが高く活用プロジェクトが少なく、現在グローバル補助金累計額は4年間の間に結果として毎年600～700万円の繰越しがあり、総額2,500万円程度の累計額となっています。福島ロータリークラブでは創立70周年記念事業の一つとしてフィリピンを実施国として、**ポリオ障害者リハビリテーション援助プロジェクト**でのグローバル補助金活用を模索しています。関係各位のご協力をお願いします。

本日は、地区ロータリー財団委員会の役割と補助金の経済的な側面についてご報告しました。

平井義郎ガバナー歓迎晚餐会

15クラブによる盛大な歓迎会を開催



11月2日(金) 18時30分から、ウエディングエルティにてRI第2530地区東北第一分区分会・第二分区分会合同による平井義郎 ガバナー歓迎晚餐会が行われました。

【司会】 福島RC 親睦ロータリー家族小委員長 菅野 晋

■開会あいさつ 福島RC会長 浦部 博

■ロータリーソング「奉仕の理想」

東北第一分区分会 幹事 菅沼 裕

■歓迎あいさつ 東北第一分区分会 ガバナー補佐 古保 猛

■招待者並びに参加クラブ紹介

東北第二分区分会 ガバナー補佐 渡邊 武

■パストガバナーあいさつ 阿久津 肇 様

■ガバナーあいさつ

RI第2530地区 ガバナー 平井 義郎 様

■記念品贈呈 平井 義郎 ガバナー ご夫妻へ

(古保 猛 ガバナー補佐 夫妻より)

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 祝 宴 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

【司会】 福島しんたつRC親睦委員会委員 手塚 順也

■開会あいさつ 福島しんたつRC会長 西戸 裕之

■歓迎アトラクション 【トランペット- Noby (ノビー)】

■乾杯 パストガバナー 大橋 廣治 様

■手に手つないで

■閉会あいさつ 東北第一分区分会 幹事 菅野 裕一



▲古保猛ガバナー補佐夫妻より記念贈呈



▲福島RCホスト、福島しんたつRCホストで大盛會

お客様並びに来訪ロータリアン紹介



●福島東稜高等学校 IAC顧問

うえの ひろこ
上野 浩子 先生

●福島中央ロータリークラブ

くれたけ ひろよし
呉竹 弘吉 様

RI第2530地区2018-19年度

**米山記念奨学会学友会
奨学生体験発表会**

2018年10月21日(日)

場所：国際医療看護福祉大学校



増子 勉 幹事

RI第2530地区米山記念奨学会学友会、2018-19年度奨学生体験発表会が10月21日(日)13時30分より国際医療看護福祉大学校で開催されました。

発表会は平井義郎ガバナー、チンタカ クマール地区学友会会長の挨拶の後、21名の奨学生体験発表がありました。もちろん当クラブのヴォ ティ テュハーさんも素晴らしいお話をしています。

話を聞きながら、加藤義朋先生と米山梅吉記念館に行ったことを思い出しました。それぞれ短いスピーチでしたが、日本と母国の違い、また日本の素晴らしさを多くの学生が話しています。

日本に留まる学生、それぞれ希望を胸に眩しいくらい凛々しい発表でした。また、カウンセラーの方々への感謝のことが多く語られています。

私のひとこと



江波 恒夫 会員

福島に着任して4ヶ月、転勤族の方から「福島にいる間に、県内の蔵元の日本酒を全て制覇した」という話は、よく聞きます。

同じ転勤族で飲み仲間となり、先日福島を離れた某氏は「県内で栽培している桃を全種類食べた」とのこと。何でも約30数種類あり、あまり市場に出回らないものは、栽培農家へ直接足を運び、分けてもらったそうです。なるほど、色々考えるものだな～と感心しました。

私も折角ご縁をいただいたので、何か福島ならではのものに挑戦したいと思える今日この頃です。

皆さま、何か良いお知恵があれば、ご教示くださいませ。

例会プログラムのご案内

11月22日(木) 祝日の週の為休会

11月24日(土) 地区大会

11月29日(木) 地区大会のため11/24へ振替

お知らせ

■17日(土) JRA福島競馬場にて「競馬を楽しむロータリアンの会」が開催されます。入場時間、退場時間は自由になっておりますので、観戦ご希望の方は事務局までご連絡ください。

■11月ロータリーレートは1ドル112円となりますのでお知らせ致します。

ニコニコBOX報告

本日のニコニコBOX投入額 22件 **¥50,000** 累計**¥775,000**

[報告] 箱岩 偉 小委員長

浦部 博会長

福島東稜高校上野浩子先生のIAC報告を期待して。信夫山の活動も中心となって指導をお願いしております。呉竹先生、文湖クラブでも、士林クラブでも大変お世話になりました。ありがとうございます。

江波 恒夫 会員

福島東稜高校、上野浩子教諭ならびに、右近八郎地区ロータリー財団補助金委員長の来訪を歓迎して。

江花 亮 会員

バースディの御祝いありがとうございました。11/1は都合により上京しましたので申し訳ありませんでした。

小原 敏 会員

本日は福島東稜高校インターアクトクラブの活動を報告させていただき機会を与えてくださり、ありがとうございます。

佐藤 英典 会員

先週フィリピンセブ島でダイビングをしてきました。

多種多様な珊瑚と色鮮やかな魚に囲まれ、身を清めて参りました。

中山 興 会員

街の中は、すっかり紅葉したと思ったら、すでにクリスマスツリーもちらほらと見かけるようになりました。月日の過ぎる早さを実感し、日々大切に過ごさなければとの思いを強くしています。

幡 研一 会員

右近地区財団補助金委員長のスピーチに期待、福島クラブの70周年記念事業への補助金の活用についてもご指導下さい。

クラブ会員より 右近八郎/綾部健吾/安藤錬雄/菅野 晋/菅野裕一/後藤浩之/小林仁一/佐藤美奈子/茂田士郎/白岩康夫/菅沼 裕/反後太郎/丹治正博/増子 勉/森岡幸江/吉田大樹